



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月28日

上場会社名 明星工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1976 URL http://www.meisei-kogyo.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 壽輝  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 備後 和秀 TEL 06-6447-0275  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	10,906	6.6	739	12.7	810	20.5	551	22.4
29年3月期第1四半期	10,229	14.9	655	11.9	672	△2.5	450	△0.5

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 567百万円 (129.4%) 29年3月期第1四半期 247百万円 (△44.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	10.65	10.64
29年3月期第1四半期	8.60	8.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	58,066	41,626	71.2	798.07
29年3月期	58,221	41,473	70.8	795.28

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 41,350百万円 29年3月期 41,205百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	8.00	—	10.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,000	△3.7	2,200	△11.5	2,250	△9.1	1,500	△12.9	28.95
通期	50,000	△3.3	5,000	△10.7	5,100	△10.6	3,400	△13.2	65.62

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	59,386,718株	29年3月期	59,386,718株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	7,574,284株	29年3月期	7,574,167株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	51,812,488株	29年3月期1Q	52,395,490株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
3. 補足情報 .....	8
(1) 受注及び売上の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善し、個人消費の持ち直しの動き等、緩やかな回復基調が続いております。一方、米国の政治・経済動向をはじめとして先行き不透明な状況が継続しております。

このような経済状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は、ボイラ事業が増加したものの、建設工事業の減少により10,704百万円（前年同期比1.7%減）の計上となりました。売上高は、主に建設工事業の各領域の進捗が堅調であったことにより10,906百万円（同6.6%増）の計上となりました。

また、売上高の増加に伴い、営業利益は739百万円（前年同期比12.7%増）、営業外収支の改善もあり経常利益は810百万円（同20.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は551百万円（同22.4%増）の計上となりました。セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①建設工事業

主に国内メンテナンス工事及び海外のLNG関連工事の進捗が堅調に推移し、売上高は10,172百万円（前年同期比11.5%増）の計上となりました。また、売上高の増加に伴い、セグメント利益は774百万円（同24.0%増）の計上となりました。

## ②ボイラ事業

国内大型案件の進捗の減少により、売上高は733百万円（前年同期比33.9%減）の計上となり、セグメント損失は59百万円（前年同期は7百万円のセグメント利益）の計上となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は38,067百万円となり、前連結会計年度末に比べ387百万円減少いたしました。主な要因は現金預金の増加3,560百万円、未成工事支出金の増加1,380百万円、受取手形・完成工事未収入金等の減少5,565百万円であります。固定資産は19,999百万円となり、前連結会計年度末に比べ232百万円増加いたしました。主な要因は有形固定資産の増加83百万円、投資有価証券の増加44百万円であります。

この結果、資産合計は58,066百万円となり、前連結会計年度末に比べ154百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は11,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ280百万円減少いたしました。主な要因は未成工事受入金の増加1,012百万円、賞与引当金の増加247百万円、支払手形・工事未払金等の減少931百万円、未払法人税等の減少629百万円であります。固定負債は4,792百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少いたしました。主な要因は繰延税金負債の増加17百万円、役員退職慰労引当金の増加11百万円、退職給付に係る負債の減少34百万円、長期借入金の減少18百万円であります。

この結果、負債合計は16,440百万円となり、前連結会計年度末に比べ307百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は41,626百万円となり、前連結会計年度末に比べ152百万円増加いたしました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加551百万円、剰余金の配当による減少414百万円であります。

この結果、自己資本比率は71.2%（前連結会計年度末は70.8%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月10日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	13,707	17,267
受取手形・完成工事未収入金等	21,239	15,674
有価証券	56	39
未成工事支出金	2,277	3,658
商品及び製品	213	207
原材料及び貯蔵品	232	255
繰延税金資産	270	325
その他	480	656
貸倒引当金	△23	△17
流動資産合計	38,455	38,067
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	9,435	9,474
機械・運搬具	4,653	4,723
土地	11,374	11,374
その他	1,158	1,254
減価償却累計額	△10,990	△11,112
有形固定資産合計	15,631	15,715
無形固定資産		
	69	66
投資その他の資産		
投資有価証券	3,631	3,676
繰延税金資産	53	46
その他	416	531
貸倒引当金	△37	△37
投資その他の資産合計	4,065	4,217
固定資産合計	19,766	19,999
資産合計	58,221	58,066

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	7,583	6,652
買掛金	513	329
短期借入金	72	72
未払法人税等	953	323
未成工事受入金	642	1,654
賞与引当金	398	645
役員賞与引当金	70	—
完成工事補償引当金	122	117
工事損失引当金	0	10
その他	1,572	1,842
流動負債合計	11,929	11,648
固定負債		
長期借入金	1,042	1,024
退職給付に係る負債	832	798
役員退職慰労引当金	379	390
繰延税金負債	2,008	2,025
再評価に係る繰延税金負債	483	483
資産除去債務	16	16
その他	57	53
固定負債合計	4,818	4,792
負債合計	16,748	16,440
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,889	6,889
資本剰余金	1,002	1,002
利益剰余金	33,774	33,911
自己株式	△2,634	△2,634
株主資本合計	39,031	39,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	883	912
土地再評価差額金	958	958
為替換算調整勘定	338	310
退職給付に係る調整累計額	△5	△0
その他の包括利益累計額合計	2,174	2,181
新株予約権	12	12
非支配株主持分	255	263
純資産合計	41,473	41,626
負債純資産合計	58,221	58,066

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
完成工事高	10,229	10,906
完成工事原価	8,556	9,087
完成工事総利益	1,672	1,819
販売費及び一般管理費	1,016	1,080
営業利益	655	739
営業外収益		
受取利息	10	7
受取配当金	67	74
不動産賃貸料	28	27
その他	21	21
営業外収益合計	128	131
営業外費用		
支払利息	2	2
不動産賃貸原価	14	14
為替差損	88	—
固定資産除却損	0	15
訴訟和解金	—	25
その他	5	1
営業外費用合計	111	59
経常利益	672	810
税金等調整前四半期純利益	672	810
法人税、住民税及び事業税	203	296
法人税等調整額	9	△45
法人税等合計	213	250
四半期純利益	458	559
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	450	551

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	458	559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△202	29
為替換算調整勘定	△17	△27
退職給付に係る調整額	8	5
その他の包括利益合計	△211	7
四半期包括利益	247	567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239	559
非支配株主に係る四半期包括利益	8	7



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設工事業	ボイラ事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	9,119	1,109	10,229	—	10,229
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	47	47	(47)	—
計	9,120	1,156	10,276	(47)	10,229
セグメント利益	624	7	631	24	655

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設工事業	ボイラ事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	10,172	733	10,906	—	10,906
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	35	51	(51)	—
計	10,189	769	10,958	(51)	10,906
セグメント利益又は損失(△)	774	△59	714	24	739

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 受注及び売上の状況

a. 受注高

区 分	平成29年3月期 第1四半期		平成30年3月期 第1四半期		対前年同期 増減	平成29年3月期	
	金額(百万円)	%	金額(百万円)	%		金額(百万円)	%
建設工事業	10,404	95.5	9,519	88.9	△884	42,443	86.0
ボイラ事業	490	4.5	1,184	11.1	694	6,904	14.0
合 計	10,894	100.0	10,704	100.0	△190	49,348	100.0

b. 売上高

区 分	平成29年3月期 第1四半期		平成30年3月期 第1四半期		対前年同期 増減	平成29年3月期	
	金額(百万円)	%	金額(百万円)	%		金額(百万円)	%
建設工事業	9,119	89.2	10,172	93.3	1,052	46,302	89.5
ボイラ事業	1,109	10.8	733	6.7	△375	5,413	10.5
合 計	10,229	100.0	10,906	100.0	677	51,715	100.0